

製品名: mGluR-6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13863**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	100kDa

抗原情報

遺伝子名	GRM6
別名	GRM6; GPRC1F; MGLUR6; Metabotropic glutamate receptor 6; mGluR6
遺伝子 ID	2916.0
SwissProt ID	O15303
免疫原	抗血清はヒト mGluR6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 828-877

背景

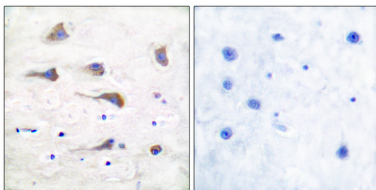
グルタミン酸代謝型受容体 6 (GRM6) ホモサピエンスの L-グルタミン酸は、中枢神経系の主な興奮性神経伝達物質で、イオンチャネル型と代謝型の両方のグルタミン酸受容体を活性化します。グルタミン酸作動性神経伝達は、正常な脳機能のほとんどの側面に関与し

ており、多くの神経病理学的状態で障害される可能性があります。代謝型グルタミン酸受容体は、Gタンパク質共役受容体のファミリーであり、配列相同性、推定シグナル伝達メカニズム、および薬理学的特性に基づいて3つのグループに分類されています。グループIには、GRM1とGRM5が含まれ、これらの受容体はホスホリパーゼCを活性化することが示されています。グループIIにはGRM2とGRM3が含まれ、グループIIIにはGRM4、GRM6、GRM7、およびGRM8が含まれます。グループIIとグループIIIの受容体は、サイクリックAMPカスケードの阻害に関連していますが、アゴニスト選択性が異なります。[RefSeq提供、2012年2月]、疾患：GRM6の欠陥が先天性定常性夜盲症1B型(CSNB1B) [MIM:257270]の原因です。この疾患は、陰性の網膜電図波形を伴う、これまで認識されていなかった常染色体劣性の先天性夜盲症です。患者は幼少期から夜盲症を呈し、最大限に暗順応した状態でも、錐体細胞が通常感知する光と同等かわずかに弱い光しか知覚できません。単発の短時間閃光に対するERGでは、光受容体由来のa波が明瞭に検出され、二次網膜内神経由来のb波は大幅に減少しています。鋸歯状の明滅光に対するERGでは、ON応答が著しく減少し、OFF応答はほぼ正常です。灰色の背景に白と黒の物体が突然現れたとしても、その知覚には主観的な遅延は生じない。機能：グルタミン酸受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼ活性を阻害するGタンパク質によって制御される。類似性：Gタンパク質共役受容体3ファミリーに属する。、

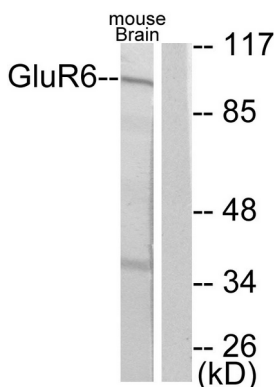
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



mGluR6抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



mGluR6抗体を用いたマウス脳ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。